

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年4月15日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 事業所番号 | 2774001206 |
| 法人名 | 特定非営利活動法人 オリーブの園 |
| 事業所名 | グループホームひより南 |
| 所在地 | 豊中市曾根南町2丁目7番14号 (電話) 06-6865-3080 |

| | |
|-------|--------------------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 |
| 所在地 | 大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内 |
| 訪問調査日 | 平成21年3月26日 |

【情報提供票より】(平成21年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|--------|-------------------------|
| 開設年月日 | 平成13年5月1日 | | |
| ユニット数 | 2ユニット | 利用定員数計 | 14人 |
| 職員数 | 13人 | 常勤 | 10人, 非常勤 3人, 常勤換算 10.9人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------|------|------|
| 建物構造 | 木造 造り | | |
| | 2階建ての | 1階 ~ | 2階部分 |

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|----------------------|-----------------------------|----------------|--------|---|
| 家賃(平均月額) | 35,000円 | その他の経費(月額) | 8,000円 | |
| 敷金 | 有() 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居時一時金含む) | ① (150,000円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 円 / 1ヶ月当たり 45,000円 | | | |

(4) 利用者の概要 (平成21年3月1日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|------|
| 利用者人数 | 14名 | 男性 | 3名 | 女性 | 11名 |
| 要介護1 | 3名 | 要介護2 | 2名 | | |
| 要介護3 | 5名 | 要介護4 | 3名 | | |
| 要介護5 | 1名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 78歳 | 最低 | 71歳 | 最高 | 100歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------------|
| 協力医療機関名 | 大阪北ホームケアクリニック |
|---------|---------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

病院の女子寮跡を改修した2ユニットのグループホームで、運営形態は特定非営利活動法人です。ホームの周りは新しいマンションも増えてきていますが、従来からの住宅の中にあり、違和感なくアットホームな雰囲気のある建物です。ホーム内には植物や季節の花、熱帯魚の水槽などがあり、利用者は、自宅の生活と変わらない、穏やかな日常を送ることができる空間で生活しています。「共に生きる」ことをモットーに利用者の価値観や存在を認め、利用者に寄り添い、見守りながら自立支援を行っています。法人代表は、職員の資質向上にも熱心で、内部・外部研修が充実しており、質の高い職員育成に力を注いでいます。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部4) |
| | 前回の外部評価で示された事項で、介護計画送付日を明確にするための取り組みとして、送付日の記載欄を設け改善しています。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4) |
| | 自己評価は施設長が中心となって作成しています。日頃から職員ミーティングなどで自己評価に対する取り組みなどを話し合い、そこから出た意見などを考慮しながら作成しています。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4,5,6) |
| | 運営推進会議は2カ月に1回定期的に開催されています。参加者として家族、地域住民、地域包括支援センター、市職員、ホームの職員などが参加し、積極的な意見交換がなされています。グループホームが抱える問題点や苦勞している面など支援の取り組みを伝え、現状の把握や理解をしてもらえるよう働きかけています。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7,8) |
| | 毎月家族には介護計画、生活プランニング表、サマリー(ホームでの生活の経過をまとめたもの)と日頃の写真を添えて送っています。その送付形式は家族からも好評で、利用者のホームでの生活状況がよくわかり安心感を与えています。体調不良時など緊急の場合は、その都度連絡をしています。年に1回家族会を開催し、ほとんどの家族から参加を得ています。積極的に意見交換がなされ、そこで出た意見は検討し改善に活かすことでよりよいサービスの質の向上につなげています。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3) |
| 重点項目④ | 地域の行事である夏祭り、敬老会、味噌作りを一緒に行い、五日市(地元商店街が毎月5日に開催するイベント)に出かけ地域の方との交流を行っています。また地域の旅行に職員が参加し、ホームの話や認知症について話をし、相互の理解が深められるよう努めています。 |

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

| 外部 | 自己 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|----|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人の理念として「人間と人間社会を見つめ、その空間と時間の歩みをデザインする」「多様な文化や価値を認めあい、個々の生きるステージを大切にする」「共生社会の中で自立支援のあり方や、そのプロセスをみつめる」を掲げ利用者、家族、地域の人々などが「共に生きる」社会の実現を目指しています。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念とは別にオリーブの園「職員憲章9カ条」があり、宿泊研修や職員ミーティングなど折に触れ、理念を共有する場を設け、日々のサービスに活かし取り組んでいます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている | 地域の行事である夏祭り、敬老会、味噌作りを一緒に行い五日市に出かけるなど、地域の方との交流を図っています。また地域の旅行に職員が参加し、ホームの話や認知症についての話を行い、相互の理解を深められるよう努めています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は施設長が中心となって作成しています。日頃から職員とは自己評価に対する取り組みなどを話し合っています。前回の外部評価で示された点で、介護計画の送付日が分かるように日付欄を設け、改善できています。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヵ月に1回、定期的に行われています。参加者として家族、地域住民、地域包括支援センター、市職員、ホームの職員などが参加し積極的な意見交換がなされています。グループホームが抱える問題点や苦勞している支援の取り組みを伝え、現状の把握や理解を深める働きかけをしています。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 相談は市役所の窓口積極的に出かけています。担当の高齢介護課だけではなく、他課との協力・連携を図り、より質の高いサービス提供を目指しています。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | 毎月家族には介護計画、生活プランニング表、サマリーと日頃の写真を添えて送っています。家族へも利用者のホームでの生活状況がよくわかり安心感を与えています。体調不良時など緊急な場合はその都度連絡しています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年に1回、家族会を開催しほとんどの家族が参加しています。積極的に意見交換がなされ、そこで出た意見は検討し、改善することによりよいサービスの質の向上につなげています。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動がある時は、利用者にできるだけダメージや不安を与えないように、他の職員が配慮しています。職員の大幅な変更をできるだけ行わないように心がけています。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 年間約60の内部、外部の研修に職員がそれぞれ参加し、研修内容について報告書にまとめ、職員会議で伝達研修を行っています。また、法人独自に5段階の評価を取り入れ、各職員に適した組織的な教育計画を立て、資格取得についても推奨しています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 全国認知症グループホーム協会に加入しています。地域でグループホーム独自の会合を開催し、施設共通の人材不足や育成、外部評価について意見交換等を行い、同業者間での連携強化に努めています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用前に職員が自宅を訪問し、情報の把握に努めています。また、利用者の不安が強い場合は、ホームの環境に利用者が自然に馴染み安心できるよう、ショートステイから利用を開始し、段階的に入居できるよう提案も行っていきます。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている | 利用者は食事の配膳や食器拭き、洗濯たたみ等、職員と協働できる範囲で役割を担っています。栗の皮を剥く特別な包丁の使い方や隠し縫い等を利用者に教わっています。また利用者は職員の疲れた顔や表情から汲み取り、優しい言葉かけをする等、支えあう関係を築いています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 個別に利用者や家族の意見を聞き取っています。また、思いを把握する為、利用者の意向や興味のあるような事を予測し、取り組みなどを提案しています。一人では難しい和裁を職員と一緒にやる事できるようになる等、利用者から喜ばれています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者や家族の意向を聞き取り、カンファレンスを通じて複数関係者から意見を出してもらい、ケアに反映しています。できること・できないことが分かる専用シートもあり、現状に即したアセスメントを行っています。ケアミーティングで職員の意見交換も行い、介護目標を決め、介護計画作成に活かしています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 毎月介護計画を見直し、状況や状態変化等に応じ随時計画の見直しも行っています。成果目標や援助目標を月末に評価し、モニタリング、アセスメントの工夫をしています。今後は評価の実施日を記載することが期待されます。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用） | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 以前、地域住民からの要請で、家族が緊急手術の必要があり、独りでの生活が難しい方を空き部屋に臨時で入居してもらったことがある等、ホームを柔軟に活かした支援も行っています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 希望するかかりつけの医療機関で受診し、受診結果等は毎月のサマリーで家族へ報告を行っています。在宅診療専門の医療機関と連携し、3名体制の医師により、月2回の定期診察と24時間365日の緊急時対応が行えるよう医療連携体制を整えています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 看取りについて重要事項説明書に記載し、家族へ説明を行っています。必要時には繰り返し利用者と家族、医師等を含めて話し合い、緊急時の気道挿管等、事前の意思も確認しています。また、家族等が故人の死を乗り越える事ができるように心がけています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 理事長をはじめ施設長、職員がプライバシーや個人情報の重要性や保護の必要性をしっかりと重んじており、「もし自分がそうされたら」「そう言われたら」と自分に置き換えながら利用者の立場に立った対応を心がけています。個人情報保護について明文化されており、記録などは鍵のかかる書庫に保管されています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 無理強いすることなく、利用者のペースに合わせて日々を過ごせるよう支援しています。利用者のペースを乱さないように、さりげなく言葉をかけ、寄り添いながら見守りを行っています。 | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の盛り付けや配膳、食器拭きなどは利用者が積極的に行い、生き生きとした表情が見られます。食事中も家庭的な雰囲気の中、利用者と職員は楽しく会話をしています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は週3回となっており、その他希望があればいつでも入浴できるようになっています。ユニット毎に浴室はありますが、1階のユニットの方が広く、利用者同士で入浴し楽しい時間を過ごせるようになっています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|---|---|------|--|
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 三味線や民謡が得意だった利用者はホーム内のクラブ活動で練習し、その成果を市民会館などで発表する機会があり、張り合いを持って日々を過ごしています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 近くの公園を散歩したり、スーパーへ買い物に出かけたりしています。行事などで外出することも多くあります。また個人のニーズに沿って臨機応変に支援しています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関は自動ドアになっていますが、日中は手動で開けられるようになっています。利用者も自由に出入りができます。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年に2回消防署の協力のもと消防訓練を実施しています。地震に対して耐震補強なども行っています。災害時の備蓄はホームより少し離れた同法人の倉庫内に準備しています。 | ○ | 災害時の備蓄として、同法人の倉庫には準備されていますが、少し距離があるため、ホーム敷地内に備蓄を置くことが求められます。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量や水分量は記録し、不足のないように把握しています。体調により食事内容を変更するなどの配慮も行っています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関や廊下などには季節の花が飾られ、熱帯魚や植物も生活の中に自然と溶け込んでいます。日常生活が穏やかに過ごせるよう、空間作りを工夫しています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホームの備えつけはエアコンとカーテンのみとなっています。それ以外は利用者の使い慣れたものを各居室に持ち込まれています。それぞれに馴染みのあるタンスや鏡台、お気に入りのぬいぐるみや花などを飾り、居心地よく過ごされています。 | | |